

## 平成 28 年度 八戸市指定ごみ袋に関するアンケート調査結果について

### 1. 調査の背景・目的

八戸市では、平成 13 年 6 月から指定ごみ袋による家庭ごみの有料化を実施しています。

指定ごみ袋は、燃やせるごみ用、燃やせないごみ用ともに 45 リットル、30 リットルの計 4 種類で開始し、その後、平成 13 年 11 月に燃やせるごみ用 20 リットルを、平成 15 年 9 月に燃やせないごみ用 20 リットルを追加しましたが、その後、サイズの追加や変更はなく、形状は「平袋」、材質は「低密度ポリエチレン」を採用しています。

近年、市議会議員やごみ減量推進員、市民の方から取っ手付きがほしいとの要望があり、平成 27 年度に市民に対するアンケート調査を行い、現在採用している「平袋・低密度ポリエチレン」の希望が過半数を占める結果となりました。

今年度は、昨年度（平成 27 年度）と同じ条件でアンケート調査を実施し、市民ニーズの変化について調査を行うことといたしました。

2. 調査日 平成 28 年 10 月 5 日～29 日

3. 調査対象 市内 15 箇所で開催した家庭ごみ減量講座来場者へのアンケート

4. 実施方法 現在、八戸市で採用している「平袋・低密度ポリエチレン」のほか、「取っ手付・高密度ポリエチレン」、「取っ手付・低密ポリエチレン」の 3 種類の現物<sup>(※1)</sup>を用意し、来場者に、実際に結んだり持ち運んだりとの使用感や容量について比較してもらい、また、職員から材質の違いによる特徴<sup>(※2)</sup>の説明を行った上でアンケート用紙に回答いただきました。

※ 1. 3 種類いずれも縦 80 c m（取っ手付は取っ手部分も含む）

横 65 c m（取っ手付はマチ部分も含む）

厚さ 0.04mm

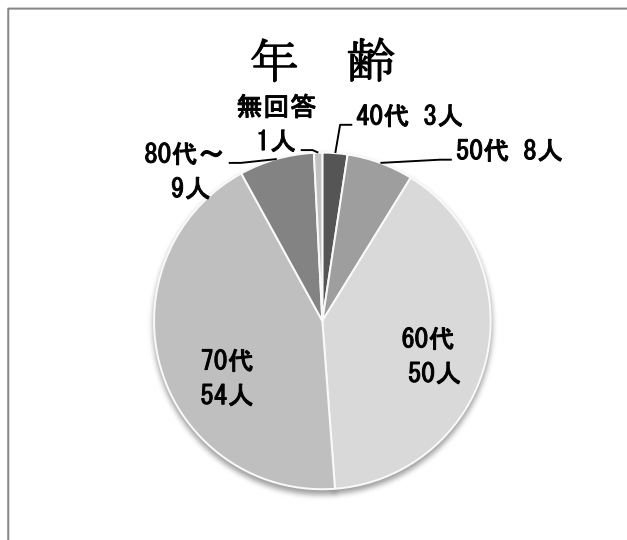
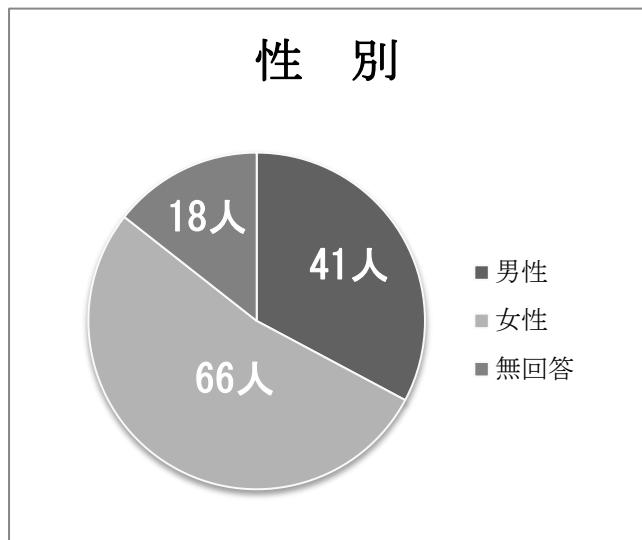
※ 2. 高密度と低密度の違いについて

高密度ポリエチレン → 引っ張っても破れにくいですが、同一方向に裂けやすく手触りはパサパサしている。

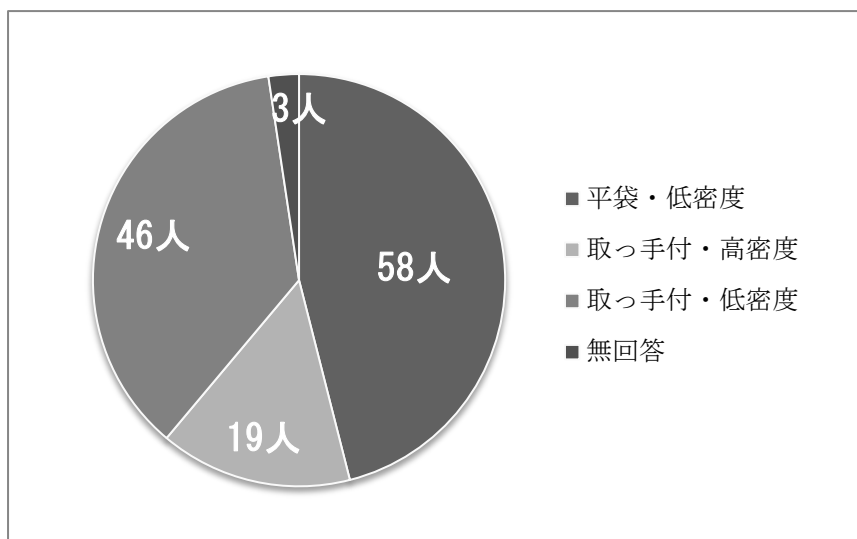
低密度ポリエチレン → 高密度ポリエチレンに比べて伸びて破れることがあるが、裂けにくく、手触りはツルツルしている。

5. 回答数 125 名（来場者 141 名）

### 6. 基礎情報の集計

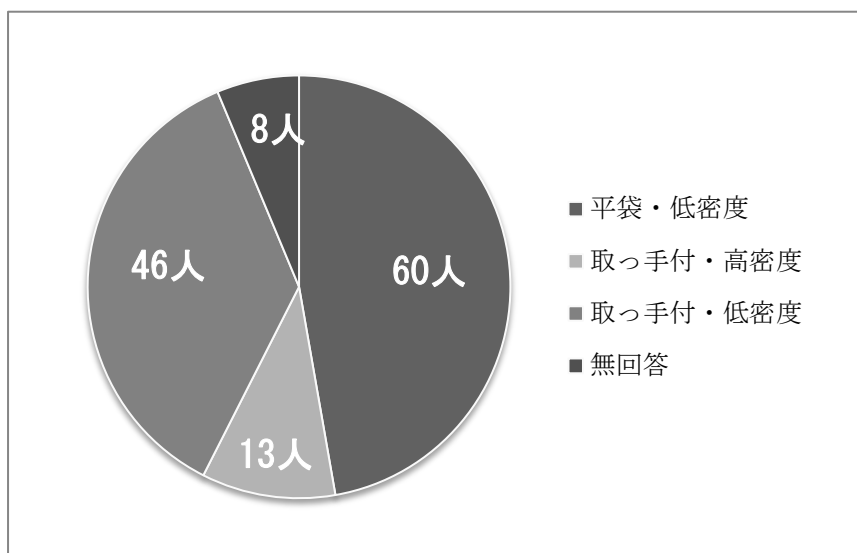


【問1. 3種類のごみ袋のうち、どのタイプがもっとも使いやすいですか。】



複数回答があるため計が回答者数  
(125人)と一致しない

【問2. 3種類のごみ袋のうち、どのタイプを指定ごみ袋として希望しますか。】



重複回答があるため計が回答者数  
(125人)と一致しない

※前年との比較

回答設問	回答数	現状（平袋・低密度P）	取っ手付・高密度P	取っ手付・低密度P	取っ手付2タイプ計	無回答
どのタイプが使いやすいか	28	58名 (46.4%)	19名 (15.2%)	46名 (36.8%)	65名 (52.0%)	3名 (2.4%)
	27	92名 (46.5%)	39名 (19.7%)	57名 (28.8%)	96名 (48.5%)	10名 (5.0%)
前年比		-0.1ポイント	-4.5ポイント	+8.0ポイント	+3.5ポイント	-2.6ポイント
どのタイプを希望するか	28	60名 (48.0%)	13名 (10.4%)	46名 (36.8%)	59名 (47.2%)	8名 (6.4%)
	27	104名 (53.6%)	31名 (16.0%)	46名 (23.7%)	77名 (39.7%)	13名 (6.7%)
前年比		-5.6ポイント	-5.6ポイント	+13.1ポイント	+7.5ポイント	-0.3ポイント

【参考：これまでの調査等】

平成24年9月に、市政モニター99名に対し、形状について取っ手付きが必要か等のアンケートを実施。結果、取っ手付きを必要と回答した方は約30%。

平成25年9月に、環境展来場者726人に対し、形状について取っ手付きが必要か等のアンケートを実施。結果、取っ手付きを必要と回答した方は36%。

## 【問2・問3の主な回答理由】

### 現状（平袋・低密度ポリエチレン）を選択した理由

- 現状で別に不便と思わない
- 使用しやすい
- 袋口からごみがこぼれにくい
- 量が多く入る
- 慣れている
- 破れにくい
- 量に応じて結びを調整できる
- 取っ手付きは便利だが無駄もありそう
- 今までどおりでよい

### 取っ手付・高密度ポリエチレンを選択した理由

- 持ちやすい
- 穴が開きにくそう
- 結びやすい
- 使いやすい
- 燃えないごみだと取っ手付がいい
- 取っ手が付いているほういい

### 取っ手付・低密度ポリエチレンを選択した理由

- 運びやすい
- 結びやすい
- 素材が固い（高密度）のは扱いにくい
- 持ちやすい
- 結びやすく伸びるほうが良い

## 【問3. その他、ごみ袋に関して意見等がありましたら、自由にお書きください。】※自由記載

- 高密度ポリは高価でないか。
- 透明或いは昔のように黒い袋でも出せればいい。
- 20ℓ以下より小さいサイズの袋を作ってほしい。
- 不燃物用はもうさらに少量のサイズも希望。
- 燃やせないゴミ袋とボランティア袋には取っ手付きにしてほしい。
- 取っ手付きの場合、ゴミが頭を出していいようにしてほしい。
- 小さいごみ袋には取っ手が付かない方がいい。

## 7. 調査結果の考察

アンケート調査結果によると、「1. どのタイプが使いやすいか」の設問については、2タイプの取っ手付きを合計した場合の人数では、現状の平袋を上回り、対前年比割合も上昇いたしました。その理由では、「結びやすい」、「持ちやすい」との記述が多く見られました。

また、「2. どのタイプを指定袋として希望するか」の設問については、現状の平袋が2タイプの取っ手付きを合計した場合の人数をわずかに上回る結果となりました。平袋を希望する理由では、「容量が多いから」「慣れている」との記載が多く見られました。

材質については、低密度ポリエチレンを使いやすい及び希望するとの声が多い結果となり、意見としては「低密度のほうが扱いやすそう、高密度は扱いにくそう」のほか、高密度Pについては、「びん」などの不燃ごみだと持ちやすそうなどの意見がありました。

今回の調査では現状の平袋を希望する割合が、昨年同様、取っ手付を希望する割合を上回りましたが、昨年度に比べると均衡する結果となりました。

このことから、当面は現状の平袋を採用することとしますが、袋の形状等の変更については、今後も調査等を行いながら継続して検討していきたいと思っております。